

公表: 2023年3月24日

事業所名 ZENIBAKO Brave

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか				児童定員1日10名のうち放課後等デイサービス定員は1日6名としており、その必要面積・設備は確保している	学習スペースの確保のため、敷地内にプレハブを設置。年齢ごとに集中し学習に取り組み始める環境を整える
	②	職員の配置数は適切であるか				児童定員1日10名に対し、指導員2名以上の配置があり、児童指導員及び保育士を配置している	現状維持しつつ、より充実した支援のため今後求人掲載により人員確保に尽力
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、特性に応じて事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか				写真やイラストなど視覚支援掲示物(カード)を設置、自主的に行動しやすい環境としている	転倒や注意不足により児童の怪我につながらないように、ガードクッションなどを使い対策をとることとした
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか				写真やイラストなど視覚支援掲示物(カード)を設置、自主的に行動しやすい環境としている	転倒や注意不足により児童の怪我につながらないように、ガードクッションなどを使い対策をとることとした
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか				業務会議を行い、共有・協議を実施すると共に、LINE等タイムリーな情報共有を実施。	PDCAサイクルの周知をしているが、自主的に継続できる者できない者に分かれてしまう。掲示物として貼り出し開始前に確認する
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか				アンケート内容について協議を実施し業務改善・支援改善につなげている	日頃の支援についてサービス提供記録を通して利用状況の報告や保護者からの意向も聞き度調整することを徹底しより良い支援につなげていきたい
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか				今年度より事業所HPを開設。前年度分より公開している	継続
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				2020年度に提携圏からの外部評価を実施	提携圏からの外部評価を実施し、その内容について改善対応策会議を行う。第三者評価委員会による外部評価を検討
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか				昨年度まで事業所内部研修を実施	外部研修についても必要なものは研修参加し、研修内容について職員間で周知する
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか				相談支援専門員からの基本情報を基に、子や保護者との面談を通じたニーズ把握、サービス計画を作成	継続
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか				生活面・身辺自立、社会性・コミュニケーション、健康面・身体面、学びの基礎などの特性が記載された様式を使用	継続
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか				事前に保護者様や相談支援専門員らとカンファレンスを行い、アセスメント内容から課題が明確にされた上で子どもに必要な項目が選択されている。またそれについての具体的な支援内容を各項目に記載している	継続
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか				定期的に計画内容の確認、カンファレンスを行い、月・週・日で目標と課題を明確にしながら進めている	継続

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか				職員参加の業務会議にて担当職員が立案	立案からの全体意見が少ない。支援に対して共有認識を持ち聞かれるよう、全体で協議する時間を確保する
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか				一定の活動は曜日や週で設定し、その中で様々な方向性から具体的な活動プログラムを組めるよう留意している	継続
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか				相談支援専門員からの基本情報を基にニーズ把握を行いサービス計画を作成。モニタリングで現状把握、課題を明確にし見直し	継続
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか				前日の業務会議にて確認、職員共通のソフトアプリを活用し各々役割を確認	午前利用前の時間確保が現状困難。現状維持で継続
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか					午前利用の振り返りは業務会議で実施するが、午後利用の振り返りが翌日になってしまう。現状維持で継続し、密度の濃い共有になるよう日々工夫したい
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか				支援経過記録入力、職員間で共有できる状態であると共に、サービス提供記録を用いて利用の都度保護者へ開示している	入力・記載したことを次に活かしてきていない部分がある。業務会議にて深掘りし、PDCAサイクルに沿って振り返りする
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか				利用開始から2ヶ月・4ヶ月・6ヶ月周期でモニタリング及びアセスメントを実施。内容を基にカンファレンスを行い、児童発達支	継続
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか				児童発達支援管理責任者及び、日頃よく対応に当たっている職員が参画（さんかく）する事としている	継続
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか				通所予定表と保護者を通して情報共有を実施。何かあれば電話連絡で迅速に対応できるようにしている	継続
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					医療的ケアが必要なお子様の受け入れはしていない
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					医療的ケアが必要なお子様の受け入れはしていない
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				お子様の様子シートや保護者様を通じた情報共有、面談などを通して相互理解に努めている	継続
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				お子様の様子シートや保護者様を通じた情報共有、面談などを通して相互理解に努めている	継続
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか				定期的なモニタリングや電話等での情報共有・助言をいただいている	継続
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				新型コロナ流行の観点から外部機関との交流は控えてきた	コロナ緩和により、外部機関や子どもたちとの交流の機会を設けられるよう検討したい

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか				案内を受けているが、勤務体制上、現状の参加は困難	体制を整えて極力参加していきたいと考える
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか				送迎時にこどもの様子や事業所での様子を確認し合うと共に、利用の様子をサービス提供記録を通して保護者へ開示し、必要に応じてLINEでの情報共有を実施している。が、共通理解を持つまでに	今後親子療育を視野に入れ、子ども・親・指導員が直接関わる機会を設け課題を明確にし、理解を深めていきたい
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか				送迎時や面談、事業所独自の書面を通してお困りの事がないかヒアリングを実施、対応等について支援を行なっている	事業所独自の書面は習慣化が難しいと感じている。お子様の様子や成長の記録として今後も継続し、別で親子療育を視野に入れ、子ども・親・指導員が直接関わる機会を設け課題を明確にし、理解を深めていきたい
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか				利用契約時に説明を行なっている	継続
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか				事前に保護者様や相談支援専門員らとカンファレンスを行い、アセスメント内容から課題が明確にされた上で子どもに必要な項目が具体的に記載された支援計画を説明し、同意として署名・捺印をいただいている	継続
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか				来所や訪問での定期面談を実施。自宅や外部での様子、事業所での様子を総合し計画作成や変更に取り入れている	継続
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				昨今はコロナ禍における密や不必要な接触を避ける観点から実施を見合わせた	今後は保護者からの意向も考慮した上で、父母交流会の開催支援や保護者会等の開催を検討している
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか				苦情受付担当と責任者を設置し、相談や申し入れ等も調整の上でご家族様へ返答、必要に応じて会議開催できる旨も伝えており、意向があった際には都度調整している	継続
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか				年2回会報の発行を実施。昨年より事業所HPを開設し、年間行事予定や活動の様子等発信している	継続。受信側の意向を汲み取り、より工夫をしていく
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか				利用契約時に個人情報保護についての書面を説明し、ご家族様より同意を得ている	継続。個人情報管理体制をより徹底し、職員間で周知する
	③9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか				連絡事項については日にちに余裕を持ち、口頭だけではなく、文書やLINEを活用し、予定については事前・前日・当日等に都度情報	ご家庭の事情やお子様の障害特性に応じて、伝達の方法を工夫し、都度対応していく
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				地域を巻き込んだ事業運営には至っていない。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、不要不急の外出や不特定多数と接触する	現状未定。コロナや感染症等落ち着いたタイミングで今後検討したい
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか				各種マニュアルを策定し、職員については内部研修にて発生を想定したロープレを実施している
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか				業務会議等で周知し、年2回、その他必要に応じて(実際に非常災害の心配がされる場合)各種訓練を実施している	訓練内容や結果等、LINEや活動カレンダーを通して定期的に周知していく
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか				契約時のアセスメントシートにて健康状態の把握、留意点があるお子様には対処や搬送先病院等の確認をしている	服薬等対応該当なし。その他継続

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか				各児童について医師の指示書を 確認させて頂き、事業所重要事項 に同意をいただいた上で対応して いる	継続
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか				ヒヤリハット報告書ファイルの 設置。都度事例を業務会議等で共 有し、日頃の対応に活かしている	継続
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか				内部研修については業務会議の 一環として開催できるよう年間活 動に組み実施。外部研修について は開催日程等の確認や案内を受け て、今後必要に応じて研修参加予 定である	継続
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかにつ いて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十 分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記 載しているか				現時点で身体拘束を行うべき対 象者はいない	必要である場合には個別支援会議等で相談支援専 門員、および保護者とも共有をした上で、職員へ も業務会議等で周知し、その上で児童発達支援計 画に記載し、日頃の対応に当たる事とする

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表: 2023年 3月24日

事業所: ZENIBAKO Brave

保護者等数(児童数) 8 回収数 8 割合 100 %

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	80%			20%		児童定員に対して必要な面積・設備を満たし、また活動ごとにスペースを確保している。受け入れ人数等により今後さらに臨機応変に対処したい
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	100%					児童定員に対し配置数は適切である。全体での研修実施や参加・取得、日々の振り返り等日頃から知識経験を積めることを継続する
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、特性に応じて事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	80%				20%	写真やイラストなど視覚支援掲示物(カード)を動線に設置。毎回確認をすることで、徐々に習慣化し最終的に自分で見る、見ずに行動できることを目的とする。転倒や注意不足により児童の怪我につながらないように、ガードクッションなどを使い対策をとることとした
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%					利用者の有無に関わらず毎日清掃・消毒作業を実施。当事業所では色、形やマーク、音などを使って活動や位置、遊びの種類に区切りをつけ、子どもたちに知らせている
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%					アセスメントによる保護者様からのご意見を尊重し、お子様の様子と照らし合わせた上で課題や目標を立て作成をしている
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%					事前に保護者様や相談支援専門員らとカンファレンスを行い、アセスメント内容から課題が明確にされた上で子どもに必要な項目が選択されている。またそれぞれについての具体的な支援内容を各項目に記載している
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%					定期的に計画内容の確認、カンファレンスを行い、月・週・日で目標と課題を明確にしながら進めている
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	80%				20%	一定の活動は曜日や週で設定し、その中で様々な方向性から具体的な活動プログラムを組めるよう留意している
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	80%			20%		提携園について、定期的に活動参加し他児との交流を図っている。外部利用者についてはコロナにより密な交流が困難な時期が続いたので、今後時期を見て連携を取りつつ交流する機会が取れると良い
保護者 への 説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%					契約時に読み上げながら1項目ずつ説明を行い、質問等確認をするように留意している
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	100%					児童発達支援計画に「発達支援」「家族支援」「地域支援」の欄を設けており、その支援内容を確認するとともに、ご家族様から署名・捺印をもらっている
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	80%			20%		過去に取り入れたことがあるが継続が困難であった。今後、親子療育の検討や専用シートを使ったトレーニングなどより良い方法を模索したい

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができているか	100%					送迎での顔合わせ時やLINE、サービス提供記録など活用し、その日の様々な様子や出来事、状況などを共有するよう留意している。今後さらにコミュニケーションの機会が増やせると良い
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%					来所や訪問での定期面談を実施。自宅や外部での様子、事業所での様子を総合し計画作成や変更に取り入れている
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	40%	20%	20%	20%		昨年度までコロナ再流行やご家庭の都合等、開催が続いて見送られた。今年度はよりワクワク感が持て、親同士の交流をメインにした会を企画策定したいと考える
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100%					相談・苦情等受付担当者および責任者設置、保護者からの相談は当日中に全体へ周知・事実確認と協議を徹底。また決定事項は当事者に対して口頭、電話、LINEなどで速やかに保護者へ説明するよう留意
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%					サービス提供記録で日々子どもの様子を共有し、必要に応じて電話やLINE、送迎での顔合わせ時に共有している。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	80%	20%				通所予定表や活動カレンダーで確認・周知。事業所利用に関して年度末に実施するアンケートを継続。前年度までは紙媒体、今年度より当事業所HPに掲載。今後HPを活用し情報発信に工夫したい
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	80%	20%				保護者からいただいた情報は利用者個人ファイルに一定期間内保管とし保管期間が終了するものはシュレッダーで破棄。保護者より事前に許可をいただき事業所ホームページに写真や活動内容の掲載。情報記載がある書類やファイル等の取り違え、外部漏洩など、個人情報の取り扱いには今後も十分に留意していく
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	100%					緊急時対応・感染症対応については職員間で周知し、マニュアルに沿って研修の定期開催を継続。状況に応じた各訓練を定期開催している。訓練概要や実施日等は年間予定表への記載やご案内にて周知している
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%					
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	100%					子どもたちの自由な発想や取り組み姿勢を大切にし、良い部分に着目できる姿勢を持って支援に携わっていく
	㉓	事業所の支援に満足しているか	100%					日々のご理解・ご協力を感謝申し上げます。これからも子どもが楽しく成長できるための支援に留意してまいります

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。